

未来 ひだか

みらくる

VOL.1 2007.10月号

日高農業改良普及センター

地域に根ざした技術の組み立て実証

日高管内農業の現状

「空知・上川は大規模稲作地帯」「十勝は大規模畑作地帯」「根釧は大規模酪農地帯」と誰もが知っている主要な産地です。

その主要な産地で、新たな水田対策、品目横断対策、目標数量選択制度など新たな農業政策が導入されて、急激に農業構造が変化してきています。

「日高は優駿の里」、昭和32年競馬法制定及び昭和45年からの稲作政策の実施で飛躍的に馬産地に特化し、現在に至っています。

しかしながら、経済不況が続き、「以前に比べ馬が売れ残る」状態が続き経営が逼迫してきています。

このような状況下で、平成14年～18年の5年間で、軽種馬から他作目に転換19戸、軽種馬に他の作目を導入した複合経営は124戸となり、軽種馬専業経営からの複合化・転換への意向のある経営体の約7割となっています。

時代の潮流に対応し、経営の複合化・転換に取り組む農業者を強力に支援するため、普及事業も新たな体制下で、支援活動に取り組んでいます。

技術の組み立て実証を通じた活動の推進

普及センターは、経営の複合化や転換を支援し、地域に根ざした技術の効果的普及を図るため、普及課題と活動地域を重点化しています。

重点地域において相互に連携する技術・情報などを集約・総合化し、地域に応じた技術の組み立てを地域内の農業経営において、より具体的に実証する活動を展開しています。更に、関係機関・団体などとの連携のもと、モデル農家の協力を得て、四者が一体となって経営実証を行っています。

「経営」と「技術」という車の両輪を支援することで、重点地域を含むより広範囲な地域における経営目標を提案し、目標達成に向けた具体的な技術を確立できると考えています。皆様のご理解とご協力をお願い致します。



現地実証に向けた座談会



作業効率などデータ収集を兼ねた実演会



本所

デルフィニウムの試験栽培を実施しています。(日高地域農業技術支援会議)

日高地域農業技術支援会議では、デルフィニウムの生育障害対策として、生育障害を受けた土と正常に生育する土とを比較し、その要因を明らかにしようと各々ポットに詰めての試験に取り組んでいます。試験は6月と8月に新ひだか町三石地区生産者のビニールハウスに設置しています。経過は各処理区によって生育差が見られており、定期的生育調査を実施して、障害の原因を明らかにしていきたいと考えています。



生育調査の様子(草丈に差が見られます)

放牧草の栄養価の確認をしましょう

軽種馬重点課題の対象牧場には、強い馬づくりのための草地づくりに助言を行っています。本年は、牧場の代表的な放牧地2~3か所の草の成分分析を行いました。軽種馬は、放牧草を食べる場所と排糞や排尿の場所に分けますので、食べている草の成分が重要です。5月から6月の時期の草を分析した結果、カルシウムとリンのバランスが崩れているケースが多く見られました。このままでは、これらの栄養素の吸収が悪くなり発育に悪影響がでますので、現在、飼料の中身を見直しています。



雨の中、電牧設置に奮闘

新冠町美宇では、低コスト酪農技術の普及を図る目的で放牧酪農の推進を展開しています。そこで、ニュージーランド製のフェンシングワイヤーによる電気牧柵を導入し、放牧地の整備を図りました。当日は、あいにくの天候で雨具を着用しての作業となりましたが、ワイヤーの張り方などを確認しながらも、作業は思ったよりもスムーズに進行し、予定の面積をこなすことができました。完成後は乳牛を放す予定ですが、「放牧した方が乳量が増える」という経営主の話しからも今後の生産性に期待がもてます。



西部支所



環境に優しい「臭い」が漂う中、 土壌還元消毒実施中！

平取町トマト・胡瓜部会では平成12年にYES! cleanを取得し、環境に優しい農業を実践しています。現在は、土壌病害対策のために、環境にやさしい土壌還元消毒を多くの生産者が実施しています。1戸の生産者で10棟も還元消毒を実施する生産者もあり、ハウスの前を歩くと「どぶ臭」が漂います。しかし、この臭いこそ、還元消毒が成功している証です。

夏から秋にかけては、半促成作型終了後のハウスの土壌還元消毒を実施するピークになります。しばらくは、環境に優しい「臭い」が漂いますが、次年度の豊作が期待されます。

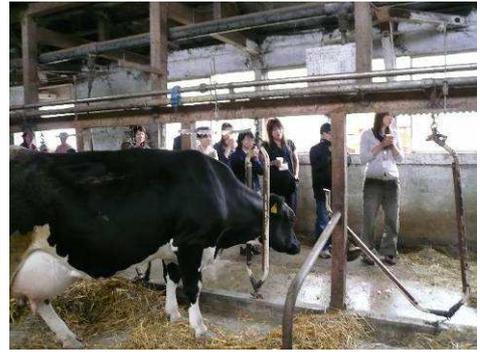


日高町で農業青年交流会開催

7月28～29日
に日高町主催による都会の独身女性と地元独身男性による農業青年交流会が開催されました。

今年は日高ケンタッキーファーム

での交流会と搾乳、アスパラガス、トマト収穫の農業体験が行われました。女性参加者から農業体験は新鮮で楽しかったと好評であり、この出会いが今後幸せな人生に発展することが期待されます。



より美味しいトマトをお届けするために・・・

平取町トマト・胡瓜部会では、桃太郎系トマト新品種の栽培試験を実施し、耐病性や食味の優れた品種導入の検討をしています。

7月20日、町内数戸で試験栽培されているトマトの試食会が行われました。重要な味の点について、部会員自らが慣行の品種と味比べをし、検討をしました。

今後、生育状況や市場評価もふまえながら、部会員全員による取り組みが続けられていきます。



トマト試食会の様子

東部支所



トマトの共同選果が始まりました



トマトの選果の様子

重点地域の浦河町富里地域では、昨年までのイタリアントマトに加え、今年から本格的に作付けされているミニトマトの「アイコ」の共同選果が始まりました。品質の良いものを出荷するために、糖度計を購入し糖度8度以上を目標として、大きさを揃えて袋詰めされています。この「アイコ」の出荷は10月中旬まで行われます。

私のコンディションどう？

和牛繁殖牛の栄養度判定を浦河町富里地区の高橋芳明牧場で行いました。判定の目的は、農業者と関係者の目あわせです。判定方法は、牛の体に直接触れ、体のしまりと肉付きを確認しました。参加者からは「牛に触って目あわせができたのが良かった」などの声がありました。



水田用乗用管理機による除草剤散布

水田用乗用管理機ってどんな機械？

水田用乗用管理機の実演会を富里地区の高橋芳明さんの水田で行いました。今回は農薬の散布を実際に行いました。参加者からは「将来は機械の共同利用や作業受委託により労働の軽減に繋がっていきたい」との声も聞かれました。

農業改良普及センターでは普及センターだよりのほかにもインターネットを通じてリアルタイムな情報や地域の話をお届けしています。下記のホームページを是非ごらん下さい。

日高農業改良普及センター農業情報未来ひだか

<http://www.agri.pref.hokkaido.jp/fukyu/hdk/index.html>

日高農業改良普及センター本所

TEL 0146-42-1489 FAX 0146-42-2521

〒056-0005 日高郡新ひだか町静内こうせい町2丁目2番10号

<http://www.agri.pref.hokkaido.jp/fukyu/hdk/honsyo/index.html>

日高農業改良普及センター東部支所

TEL 0146-22-9347 FAX 0146-22-2559

〒057-8558 浦河郡浦河町栄丘東通56号 日高支庁内

<http://www.agri.pref.hokkaido.jp/fukyu/hdk/tobu/index.html>

日高農業改良普及センター西部支所

TEL 01457-2-2055 FAX 01457-2-2918

〒055-0107 沙流郡平取町本町105-6

<http://www.agri.pref.hokkaido.jp/fukyu/hds/index.html>